

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	良質な建築ストック形成検討小委員会	主 査 名：新宮 清志 就任年月：2011 年 8 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	学術推進委員会	委員長名：長谷見雄二
設 置 期 間	2011 年 8 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築物の保存活用問題を本会の建築の長寿命化、良質な建築ストック形成に向けた活動として位置づけて恒常的に取り組むことにより、本会の分野横断的な調査研究活動の活性化をはかり、さらに本会の社会貢献活動に寄与することを目的とする。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査：新宮清志 (日本大学) 幹事：後藤治 (工学院大学)、花里利一 (三重大学) 委員：岩井光男 (㈱三菱地所設計)、上北恭史 (筑波大学)、内田青蔵 (神奈川大学)、大月敏雄 (東京大学)、尾谷恒治 (ツムラ法律事務所)、角幸博 (北海道大学)、小林正美 (明治大学)、清水昭之 (東京理科大学)、谷直樹 (大阪市立大学)、野口憲一 (大成建設㈱)、濱定史 (東京理科大学)、山崎鯛介 (千葉工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	地域建築ストック継承支援 WG： 地域の日常生活の中で大切に継承されている貴重な建築物を、今後継続的に使用しその価値を後世に引き継ぐための方策を支援する。そのうえで、より一般的な形で、地域の良質建築ストック次世代継承の枠組みを提示する。	
2012 年度予算	460,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/r000-12/r210-12.html">http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/r000-12/r210-12.html</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 建築歴史・意匠委員会と共同により「価値ある建築物の保存要望にあたっての申し合わせ」の改定と「価値ある建築物の保存活用に関する要望書作成要領」の新設を起案し、理事会の承認を得た。 2. 今後の活動に向け、活動方針に関する議論と組織体制の構築を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	